

5月3日（月）

昨日までとはうって変わって、穏やかな晴天です。

今日は、30年祭に行きました。いわゆる年忌というもので、亡くなってから30年経って行う祭りです。神道では50日祭、1年祭、3年祭、5年祭を重きにして、その後は10年祭、20年祭と10年ごとに行います。代々受け継がれていけば話は別ですが、一般の家庭での祖先祭は、これまでの私の経験では3年祭までですね。

たとえば、50年祭を行うとなれば、亡くなった方の子どもは70～80歳になっています。ひよっとすれば、その子どもが亡くなっている可能性もあります。よって、50年祭が行われる可能性は小さいとされます。ですから、今日の30年祭が行われたことは特筆すべきかと思えます。